

反畑 誠一(たんばた・せいいち)先生

音楽評論家 立命館大学客員教授

講師紹介は、開講オリエンテーションのページに記載

〈講義概要〉

本講座のコーディネーターである立命館大学の反畑誠一客員教授が、後期総括として、学習の成果と今後の活用についての講義を行った。

講義ではまず、後期の授業を振り返った後、東日本大震災を通じた「音楽力」について、音楽制作の概念を変える画期的なデジタル化の事例とともに説明。学生は音楽の持つ力と可能性を改めて実感した。また、コンテンツ産業の概念やデジタル技術の進歩により興った情報革命について解説し、エンタテインメント産業の今後の展望を考える上で必要な知識を示した。

続いて、デジタル時代を代表する偉人、米アップルの共同創業者である故スティーブ・ジョブズ氏を紹介し、プレゼンテーションの「奥義」やビジネス戦略、魅了する人柄等について書籍や雑誌を用いて詳細に説明した。ジョブズ氏の緻密に構成されたプレゼンテーションの世界を知り、学生は感銘を受けるとともに、書籍等で積極的に学習を深め、学生生活や社会において実践していく意欲を示した。最後に、「多くの本を読み多くの情報を得て自分のものにしていって欲しい」と伝え、1年間の講義を締めくくった。



〈受講生の感想〉

今回で3年目の受講なのですが、いつも刺激を受け、私はコンテンツ産業に興味があるので、本当に勉強になりました。デジタル化と音楽の関係の中で切っても切れないのが著作権です。この講義を通じてコンテンツに関する著作権の重要性を学び、知的財産管理技能士3級の資格を取りました。来年も受講したいと思います。
立命館大学・産業社会学部・3回生

この講座を受講して音楽産業について気付かされることが多くあった。私にとって音楽は“聴く”もので、その裏にあるソフト市場の低迷や著作権に関する問題に目を向けることはなかったので、問題意識を持つきっかけとなった。今後、音楽がさらに盛り上がり、より良くなっていく方法を考えていく必要があると感じた。
立命館大学・産業社会学部・1回生

普段お会いする機会もないような著名な方々の貴重なお話しが聞けて本当に良かったです。著作権などについては自分の頭で考え、きちんと判断していくことの大切さを、そしてスティーブ・ジョブズという偉大なクリエイターの言葉から人生のヒントを得ることができました。講義で学んだことを忘れずにこれからも学び続けたいと思います。
立命館大学・産業社会学部・4回生

前期から通年でこの授業を受講させていただきました。音楽やコンテンツを考えることはとても奥深いものであると感じました。この講義終了後も自分自身で学びを深めていきたいと考えています。コンテンツ産業は日本が世界の中で生き残っていくのに重要な力であると思います。そのため、私たちはこのような授業を通して業界の最前線を学んでいくべきだと思います。
立命館大学・映像学部・3回生

「音楽は文化の一部であると同時に文化そのものである」という文が印象的だった。ジョブズ氏のプレゼンテーション能力には、スタンフォード大学でのスピーチを聴いたときに本当に驚かされた。今日の3幕構成のお話を知ってなぜあんなに説得力があったのか少し分かったように思う。
立命館大学・産業社会学部・2回生

本講座を通じて現在のコンテンツ産業や世の中の流れを学ぶことができた。特に違法ダウンロードの問題や、日々変わっていく著作権の問題、日本のアニメ、漫画産業と映画化ドラマ化の関係など産業全体をカバーし、様々な側面にスポットライトを当てて講義を聞いたので、それらを個々に学ぶのではなく、それら全てに関連性があることを学ぶことができたのは大きな収穫だった。ジョブズ氏のプレゼンの本などはすぐにでも役立ちそうなのでぜひ読んでみたいと思った。
立命館大学・文学部・4回生

この講義では消費者の視点ではなく生産者の視点から学ぶことができ新鮮でした。ただメディアに関する知識が全くないことも実感したので、もっと勉強しなければいけないと思いました。
立命館大学・産業社会学部・4回生

ジョブズ氏のスピーチをみたことは私の人生にとって転機でした。反畑先生が仰っていたジョブズ氏の精神は本当に驚きました。これほどまでに一瞬一秒に向き合い、いかに有意義なものにするか考えているのだと知りました。この講義で人間として必要な知識を多く得られました。
立命館大学・法学部・3回生

今までの講義を振り返ってみると、今まで知らなかった業界の仕組みや業界の問題など外からは見えない内部のことが知ることができ、非常に興味深かったです。普段話の聞く機会のない方々の話が聞けて本当に勉強になりました。
立命館大学・映像学部・2回生

この講義を通して現代社会におけるデジタル技術の進歩やそれによる問題というもののが良く理解できた。中でも、私は音楽の力というものに特に考えさせられることが多かった。音楽には人の心を動かせる力があると思う。違法によって音楽との触れ合う機会が減ることのないように早く対策をしなければならない。
立命館大学・産業社会学部・1回生